

下関港湾空港技術調査事務所

【連絡先】 〒750-0025 山口県下関市竹崎町4丁目6-1 下関地方合同庁舎2階
TEL：083-224-4130

全国の港湾空港技術調査事務所（以下「技調」）を訪ね歩くシリーズ企画「技調探訪」。第5回は、下関技調の児島所長にお話を伺いました。



【お話】
下関港湾空港
技術調査事務所
所長
児島 正明さん

Q1 下関港湾空港技術調査事務所（以下「下関技調」）とは？

下関技調は、平成13年1月の省庁再編に伴い、(旧)下関調査設計事務所と(旧)下関機械整備事務所が統合して開設されました。平成24年1月に下関市東大和町から竹崎町にある下関地方合同庁舎へ移転し、現在に至ります。九州管内の港湾・空港・海岸・船の技術センターとして「地域と

組織に信頼される事務所」を目指した職場です。

現在は非常勤職員5名を含む全職員27名が働いています。



潮流・波浪実験場全景

件やニーズに対応した様々な構造形式の設計を行っています。また、大分港海岸では簡形鋼矢板などの新技術を活用した設計も行っています。

一方、波浪が及ぼす設計断面への影響については、水理模型実験による確認等が重要となってきます。当事務所は、水理実験施設として大規模な潮流・波浪実験水槽（61.0m



潮流・波浪実験水槽による実験の様子

×48.5m）と造波長水路2本（L=41m、50m）を有しており、主に、防波堤ブロックの安定実験や海岸護岸の越波流量測定実験を行います。最近

はCADMAS-SURFなどの数値シミュレーションによる解析が主流となっていますが、シミュレーションで実験ケースを絞り込むことにより実験にかかるコストを削減できます。

また、ドライドック施設を保有しており、年間を通じて管内直轄船舶の定期整備や修繕を行っています。九州地方整備局の保有船舶は、ドラグサクシオン浚渫兼油回収船【海翔丸】、清掃兼油回収船【がんりゅう】、調査観測兼



ドライドック施設全景



ドライドックで定期整備中の【海燕】

Q2 下関技調の特色は？

地域の特色としては、他の地整に比べると各港湾の規模は小さいものの、数が圧倒的に多いことです。港湾施設の数が多いと必然的に設計案件も多くなってきます。また、各港湾の所在する地域は、例えば南部では高波浪海域、有明海や瀬戸内海では高干満差や厚く堆積した粘性土層など地域によって自然条件が大きく異なることも特徴の一つです。また、近年大型外航クルーズ船の寄港数増加に対応するため、下関港、佐世保港、八代港、鹿児島港において進められたクルーズ船バースの整備では、短期間での整備が求められ、北九州港、大分港、細島港等の九州東側の港湾においては、耐震性の確保やトラックドライバー不足や労働規制強化の流れからフェリーやRORO船の就航に対応した岸壁の早急な整備が求められるなど、地域の自然条

清掃船【海輝】・【海煌】、測量船【海燕】、航路調査船【鎮西】、港湾業務艇【なじま】・【すいせい】・【かがしま】・【たちかぜ】・【あみかぜ】の計11隻です。

職場で最も力を入れている取り組みは、若手職員人材育成です。下関技調には新卒3年以内の職員が4名います。一方で、どの業界、職場でもそうですが30代、40代の中堅職員が少ない状況です。そのため、若手職員には短期間で成長して貰う必要があり、具体的な取り組みの一つとして、所属する部署以外の打合せにも可能な限り参加してもらいます。これは下関技調が行っている幅広い業務や知識に触れることにより、業務への理解や意欲を促すことが狙い입니다。短い任期で全業務を把握することは難しいと思いますが、今後の糧としていただきたいと思います。

Q3 下関技調の暮らし方は？

全員がワンフロアで働いております。所長室も同じフロアにあり、みんなの顔が見える横のつながりが強い職場です。お昼休みには部署に関係なく豊前田という近くの飲食店街に食事に行くこともあります。最近はコロナが落ち着き、アフターファイブの交流も行えるようになりました。

職員は、下関市や北九州市の小倉からの通いが大半です。小倉にある宿舎は北九州周辺の他事務所に勤務する若手職員も多く住んでおり、日々活発に交流しているとも聞いています。

Q4 地域での根ざし方は？

新型コロナウイルス流行により、3年間中止されていた関門リーグという野球大会を、今年度久しぶりに開催することとなり、下関技調も参加しました。本野球大会は関門地区の各事務所が持ち回りで幹事を務めており、今回は下関技調が当番幹事でしたが、若手職員主体の運営により、滞りなく開催することが出来ました。幹事の仕事は、若手職員にとって大変なことではありますが、他事務所の職員

と交流する大切な場面にもなっています。お互いに顔を知って、共通の体験をすることで距離も縮まり、仕事面においてもプ



野球大会

ラスの影響を及ぼす有意義な機会だと思います。

先ほどお話しした水理実験施設での水理実験期間中は、一般向けに見学会を行うこともあります。近隣の土木工学を学ぶ高校生や、西日本工業大学・山口大学などの大学生が水理実験にふれられる機会を提供しております。近年は大学でもシミュレーションを用いた学習や研究が当たり前になってきております。シミュレーションの結果も重要ですが、やはり実験して実際に目で見る経験は重要と考えています。学校の実験室ではなかなか出来ない規模の実験を行っていますから、これからも継続して企画したいと考えています。次回の見学会は令和6年1月中旬に行う予定です。



水理模型実験見学会の様子

Q5 来所した方へのオススメは？

下関は海産物や複合施設が豊富な土地です。

カモンワーフはレストランや関門の海産物、お土産品店など多彩なショップが並ぶシーサイドモールです。カモンワーフには下関ならではの珍しくて美味しい食べ物がいっぱいです。唐戸市場の新鮮ネタ満載の海鮮丼、ふくバーガーなど是非一度ご賞味下さい。ボードウォークからは関門海峡が一望できます。

海峡メッセ下関には海峡ゆめタワーがあります。展望室までシースルーエレベーターで70秒。日本有数の高さを誇る143mの展望室からは、関門海峡、巖流島から響灘、対岸の九州まで、360度の絶景がパノラマで広がります。季節曜日によって変化する夜間ライトアップも必見です。

Q6 当センターへのご意見等ございましたら

下関技調は関係団体や民間事業者にご協力いただき、管内職員の新規技術の知識更新を目的とした「みなとの匠」という勉強会を行っています。沿岸技術研究センターにもマニュアルや新規技術の紹介等でご協力いただくことを期待しております。

ありがとう
ございました。